

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議

2010年12月15日 第4号

100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

◆東京新宿駅東口(アルタ前)から西口へ移動しての街頭署名活動を実施しました

12月11日(土) 新宿駅東口前および西口前にて、全国各地から約170名の方々が大集合し、こころの健康政策構想実現会議主催で街頭署名活動が盛大に行われました。「精神疾患基本法制定の署名にご協力を」など書かれた黄緑色ののぼり旗が立ち並ぶ中、黄色いたすきを身につけ、道行く人にチラシを渡し、署名を呼び掛け、カンパのお願いをしました。また、車上からのリレートークでそれぞれの思いを訴えました。当事者も家族も精神科医師も支援者も、みな臆することなく、自分たちの体験から日本の精神保健医療体制の貧しさを語りました。「50年間精神科医師として診療をしてきたが、当事者や家族が堂々と自分たちの実情を訴える日が来ることなど想像もできなかった。今日は記念すべき日である。」というスピーチが、今も耳に残ります。自ら署名をしてくださる方もいれば、知らん顔で通り過ぎる人もいました。その様子を見て、当事者も家族も精神疾患を体験する前は「通り過ぎる人の1人だった」ことを思い出し、だからこそ、こころの健康の問題は他人事ではないと訴え続けねばとの思いを新たに作る体験でした。午後1時から午後4時までの活動で約1000筆の署名が集まりました。なお準備および実行に当たってはさまざまな団体のみなさまに多大なるご協力をいただきましたことお礼申し上げます。

◆NPO 法人千葉県精神障害者家族会連合会主催でも街頭署名活動が行われました

NPO千葉県精神障害者家族会連合会では、12月11日、12日と千葉駅前で、延べ12名の役員がチラシの配付(500枚)を行いながら呼びかけましたが、署名の方は思ったほど集まりませんでした(障害者週間記念の集いと併せて70名)。参加した家族も一般の方々に「こころの病の問題」をお伝えすることの難しさを感じましたが、中には向こうから積極的に問いかけて下さり、署名を下さる方もおられ、私たち家族も改めて、内だけでなく、外へ発信することの重要性を感じました。

◆「みんなねっと」および「コンボ」からご支援をいただけることになりました

NPO 法人全国精神保健福祉会(みんなねっと)は、各都道府県連合会および理事会の承認を得てこの署名活動に全国組織として取り組んでいただくことになりました。各都道府県連合会に署名用紙も用意していただきました。さらにNPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボからも協力をいただきました。この署名活動は全国ネットで行うことに意義がありこのような組織力が、大きな力になること請け合いです。運動の広報および周知活動の大幅な向上に寄与していただけるものと期待しております。関係各位のご尽力に感謝いたします。

◆広がるこころの健康政策構想実現会議

全国自治体病院協議会(1000近くの自治体立病院が加盟、精神科特別部会があり、松沢病院もその1つ)が、中島豊爾先生(協議会副会長)、平田豊明常務理事、岩成秀夫精神科特別部会長らのご尽力で、協議会全体として署名運動に取り組んでいただくことが決まりました。会長の邊見公雄先生の傘下全病院への署名協力の呼びかけも発せられました。全加盟病院へ、12月2日(木)付(全自病第483号)において、「精神疾患対策基本法」の制定をめざす署名活動への協力依頼が送付されました。実に心強い動きであり、関係者のご尽力に感謝をこめて皆様にお知らせいたします。

またNPO 法人横浜市精神障害者家族連合会(浜家連)とNPO 法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会(市精連)の主催で、1月28日に「浜家連・市精連合同シンポジウム」を横浜市南公会堂で開催し、この運動の啓発・署名活動を行います。これには岩成秀夫先生、田中英樹先生、野村忠良さんによる講演も予定されています。

◆運動スローガンを表した、横断幕、のぼり旗(通称:桃太郎旗)、および胸に付ける缶バッジを作りました

街頭署名活動および講演会場でも使用できるよう、横断幕、のぼり旗を作りました。貸し出しも可能です。また“ハートとこころの健康”を模した2種類の缶バッジも作りました。缶バッジは2種類で1組として、単価200円で頒布します(販売は1組、300円を想定)。旗の貸し出し、缶バッジをご希望の方は100万人署名委員事務局にお申し込みください(最低50組以上)。

◆いろいろな方々から次々とご賛同をいただいております

先の増刊号でご案内の他に、今回新たにNPO 法人・クッキングハウス代表の松浦幸子様から応援メッセージを添えて、ご賛同をいただきましたのでご紹介いたします。

「“こころの健康”で世界の先進国になり、モデルになっていける政策構想をぜひ実現していきましょう。いつまでもこころの健康後進国にいることは恥ずかしいことです。」

